

2019年12月11日

一般社団法人 日本半導体商社協会 (DAFS)  
セミナー委員会委員長 橋 一徳

2020年2月5日(水)開催『半導体商社員のためのISO26262解説セミナー』開催要領

1. 主催：(一社) 日本半導体商社協会(DAFS) セミナー委員会
2. 開催日時：2020年2月5日(水) 14:00～17:00 (受付開始 13:30より)
3. 会場：伯東(株) 本社 8F 講堂  
(地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅下車 大木戸門方面出口より 徒歩4分)
4. 時間割／演題／講師・略歴／講演要旨：
  - ・注意事項説明・委員長挨拶：14:00～14:05
  - ・セミナー：14:05～17:00

第1部 (14:05 ～ 15:15)

- ・演題：『テスラが先行、自動運転とコネクテッドカーの最新動向』
- ・講師・略歴：日経BP社 日経Automotive/日経xTECH(クロステック)編集  
記者 久米 秀尚 氏

2007年 名古屋大学工学部卒業、

2009年 東京大学大学院工学系研究科修了

2009年 日経BP社入社。「日経エレクトロニクス」を担当し、民生機器、  
電動車両、電池など自動車分野を取材。2015年1月から「日経Automotive」  
を担当。電動車両や自動運転車など次世代自動車のテーマを中心に取材  
を進めている。

- ・講演要旨：自動車メーカーがもれなく開発に注力する「CASE(コネクテッド・自動運転・  
シェアリング・電動化)」。一見すると各社横並びのような状況だが、実は取り組む  
姿勢や考え方に違いがある。本講演では、コネクテッドカーと自動運転の話題を中  
心に開発動向を解説していく。

CASE開発で先行する1社が、米国のEVメーカーのテスラ(Tesla)だ。自動運  
転時代を見据えた車載コンピューターをいち早く採用した。OTA(Over The Air)  
による機能更新も実施済みである。日経BPはテスラのEV「モデル3」を購入し、  
独自に分解・分析したので、その結果も紹介する。

第2部 (15:30 ～ 17:00)

- ・演題：『半導体商社員のためのISO26262解説』
- ・講師：ルネサスエレクトロニクス株式会社  
オートモーティブソリューション事業本部  
車載コアテクノロジー開発統括部 統括部長  
安増 貴志 氏

- ・ 講演要旨：近年、クルマの電動化が加速している。その背景にあるのが CASE (Connected, Autonomous, Shared & Services and Electric) に伴う動向であり、半導体に求められる最も重要な要素の一つが「安心・安全」である。それを実現する為に制定された規格が ISO26262 である。

本講演では、先ずシステムにおける機能安全とは何か？という根本的な内容の説明を行い、それを踏まえ、2011年に制定された車載機能安全規格 ISO26262 が規定している事、および 2018年12月に制定された ISO26262 第2版で追加された半導体パート (Part11) の要点の説明を試みる。

その上で、日々顧客と向き合っている半導体商社員にとって、どういう観点で ISO26262 を捉え、お客様へのガイドや半導体メーカー側へのフィードバックを実施すべきかという観点に関しても纏める。

半導体は常にその使われるシステムやアプリケーションと密接に関わり合い乍ら適切な分担・機能を担う事が重要であり、システムサプライヤと半導体サプライヤの議論は必須である。それをコーディネートする半導体商社員の役割も大きく、業界発展に貢献させて頂きたいとの思いも込めて皆様と議論を実施させて頂きたい。

5. 受講対象者：自動車関連顧客あるいは関連製品をご担当、または今後その予定のある方、品質部門で ISO など各種規格対応ご担当の方、この分野に関心をお持ちの方々。
6. 受講料：1万円/1人 (当日現金にて支払い/領収書発行)
7. 参加申込：別紙参加申込書に記入の上、DAFS 事務局宛てに E-Mail にてお申込み下さい。人数のみの事前予約も受付けます。
8. 締切日：2020年1月17日(金)ただし、定員(45名)に達し次第締め切り。

以上